

清流のほとり



令和7年6月2日(月)発行

園長 津田 将美 寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです！

カニさんの 気持ち

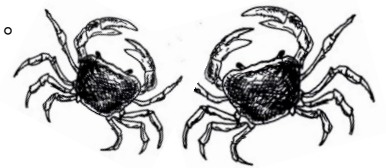
花々が色鮮やかに町を彩った春から、新緑が生き生きと輝き出す季節となりました。生き物も活発に活動するようになり、園内外で子どもたちは日々、目を輝かせながら新しい発見をしています。

園の横の川から、年中さんがカニを2匹捕まえてきました。しばらく楽しくカニさんと遊んだ後、そのカニをどうするかの話し合いになりました。

「逃がしてあげよう」

「好きな子が持って帰ったら？」

「このまま飼いたい…」



様々な意見が出てきました。どの答えもその子なりの想いがあり正解です。しかし、進むべき道は一本。どの道で進むかは、みんなで決めなくてはなりません。

ある子が言いました。

「カニさんのお父さんとお母さんが、探していると思うよ。」

自分の生活経験でしょうか、カニさんやカニさんの家族の想いまで想像して、そんな意見を出しました。この考えには大きな説得力があったようです。多くの子がその考えに賛同し、川に返すことになりました。

「カニさんも、狭いところにいるよりも、川にいる方がいいよね。」

後日、カニさんを川に返しに行くことになり、同行させてもらいました。カニさんはその場にあった入れ物に入れて、そっとやさしく川に戻します。川に戻った2匹のカニさんは、しばらくその場にとどまっていた。

「ぼくたちと別れるのがさびしいのかな…」

「もっと私たちと、遊びたいんじゃない？」

「お父さんとお母さんが、さがしているよ。」

それぞれが、それぞれの想いをカニさんに伝えています。

あたたかい日差しに照らされながら、みんながやさしい気持ちになっていることを感じました。



学校(幼稚園)評議員会

5月27日に、今年度第一回目の評議員会が開催されました。園での保育の様子を参観していただいた後、幼稚園の運営について提案しご意見等いただきました。いただいた主なご意見は、以下の通りです。

- ・様々な環境構成の工夫により、「遊び尽くす」という活動がなされている。
- ・色水を袋詰めにして、スズランテープで吊るすなど、園児が意欲的に活動するような環境設定が丁寧になされている。
- ・幼稚園で積み重ねている体験活動が、小学校にスムーズにつながっていくと良い。子どもたちが体験を重ねることで工夫が生まれている。
- ・中学校の家庭科で幼稚園との交流をもつ事例もある。保育体験なども活用して、中学校との連携も進めていけると良い。

1時間程度、実際の保育を観ていただいたおかげで、具体的で励みになるご意見をたくさんいただくことができました。

いただいたご意見を今後の園運営に活かしていきます。